

『みやぎ農業見聞のつどい』を開催！

去る、令和4年10月22日（土）、仙台市若林区「JR フルーツパーク仙台あらはま」にて、新規就農への第一歩として、農業を職業（仕事）として興味を持たれた方、考え始めた方等に対し、独立自营就農や雇用就農につながる一助となることを目的に、仙台ターミナルビル（株）のご協力のもと、「令和4年度 みやぎ農業見聞のつどい」を開催いたしました。



はじめに、JR フルーツパーク仙台あらはまを運営する仙台ターミナルビル(株)より、震災復興後の集団移転跡地利活用事業への参画、一年を通じた観光農園を実現するための気候と作目に関するご講義をいただき、同社の「震災復興」・「農業振興」・「地域連携」を軸とした、現在の取組状況と今後の事業展開、野菜・果樹栽培に関する理解を深めました。



続いて、「先輩農業者の事例紹介」では、仙台秋保 くまっこ農園の代表 渡邊重貴氏、川崎町で ^{カモ} KAM-O-_ナ オーガニックファーム を経営する長嶺圭太氏のお二方を講師としてお迎えし、就農までの経緯・就農前に検討すべき事項のほか、現在の取組状況等についてご講話いただきました。

参加者は、「農地を確保するためには有力者とのつながりが大切」、「農業はとにかく楽しくやる」、といった実体験からなる説明内容に熱心に耳を傾けていました。



研修会終盤には、実際に果樹園をめぐり、梨・イチジク等の栽培管理に係る研修を実施しました。

ここ数年の新規就農希望者の傾向として、野菜・果樹を希望する方が多いことから、昨年同様にJRフルーツパーク仙台あらはまを会場に開催し、農産物の収穫体験も取り入れながら、参加者等のご協力をいただき、盛況の内に終了することができました。次回以降の開催についても、皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、よりよい研修会となるよう努めて参ります。引き続き、当公社並びに関係機関の連携のもと、定期的に就農相談会を実施する等、新規就農者の県内定着に向けて活動を展開していきます。